

施策評価調書(1)

評価対象年度	30年度
--------	------

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	4 魅力ある農業の振興
施策関係課	(経済部)農政課・グリーンセンター

●施策の基本方針(目標)
歴史と伝統を誇る花き・植木や野菜といった本市の農産物(生産地)のブランド力向上と販路拡大を図るとともに、首都圏で貴重な農地を保全する仕組みを作ることで、都市農業の振興につなげていきます。

●目標指標									
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果	
	目標値	現状値を上回る(平成32年度)		現状値	45.7(平成27年度)		達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)		
	実績値	47.3	48.4	46.1					
指標②	名称	市内総生産額(農業)				単位	百万円	指標の種別	成果
	目標値	県内市町村における伸び率を上回る(平成32年度)		現状値	1,306(平成24年度)		達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)		
	実績値	1,392(平成26年)	579(平成27年度)	579(平成27年度)					
指標③	名称	市民農园区画数				単位	区画	指標の種別	成果
	目標値	572(平成32年度)		現状値	492(平成26年度)		達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)		
	実績値	579	551	724					
指標④	名称					単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)		
	実績値								
指標⑤	名称					単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)		
	実績値								

*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

事業額	(単位: 千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度計画額
	事業費	349,027	423,900	389,647	410,891	399,818
	概算人件費	176,884	200,460	166,769	165,110	165,821
	総事業費	525,911	624,360	556,416	576,001	565,639

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 48	単位施策② 53	単位施策③	
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			50.5	

施策評価調書(2)

評価対象年度 30年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 都市農業の振興									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (予算額)	令和2年度 事業費 (計画額)	平成 30年度 の 総評価	令和 元年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
34100101	川口緑化センター 指定管理者管理運営費	経済部 農政課	125,336 6,560	123,513 1,560	131,645 2,054	138,012 1,580	151,319 1,975	48	現状維持 で実施
34100301	都市農業対策事業	経済部 農政課	65 2,050	161 3,666	128 1,975	56 1,185	56 1,185	52	縮小して 実施
34100401	川口農業塾開催事業	経済部 農政課	1,559 1,886	1,238 2,184	1,352 3,160	1,527 2,370	1,527 2,370	42	現状維持 で実施
34100451	開園50周年関連事業 (平成29年度をもって完了)	経済部 グリーンセンター	— —	78,403 33,618	— —	— —	— —	—	—
34100601	農地基本台帳 管理システム費	経済部 農政課	1,003 1,230	1,054 1,638	980 3,792	1,583 3,555	1,583 3,555	52	現状維持 で実施
34100701	農政関係広報事業	経済部 農政課	69 1,148	76 1,326	99 1,343	132 1,738	132 1,738	50	現状維持 で実施
34100802	農政審議会経費	経済部 農政課	89 1,230	325 3,120	692 2,370	899 2,607	834 2,370	48	現状維持 で実施
34100901	農業経営改善事業	経済部 農政課	0 3,690	34 1,950	9 1,975	71 1,975	71 1,975	39	現状維持 で実施
34101002	緑化産業活性化事業	経済部 農政課	1,230 5,740	1,630 3,120	1,900 3,555	2,000 3,555	2,000 3,555	53	現状維持 で実施
34101101	園芸振興事業	経済部 農政課	4,859 2,460	5,305 3,120	5,308 1,975	5,700 1,580	5,700 1,580	55	現状維持 で実施
34101202	農業改良普及事業	経済部 農政課	5,186 3,280	5,074 5,850	5,292 5,925	5,800 5,530	5,800 5,530	53	現状維持 で実施
34101301	植物取引センター 指定管理者管理運営費	経済部 農政課	17,895 2,132	17,780 702	19,315 1,501	19,089 1,343	19,856 1,896	48	現状維持 で実施
34101401	特産園芸品展示即売会 開催事業(平成28年度をもって廃止)	経済部 農政課	2,317 1,640	— —	— —	— —	— —	—	—
34101501	第8回世界盆栽大会出展 事業(平成29年度をもって完了)	経済部 農政課	1,760 2,870	2,095 1,950	— —	— —	— —	—	—
34101601	農作物生産等 実態調査事業	経済部 農政課	435 1,066	420 858	398 1,580	456 1,738	456 1,738	44	現状維持 で実施
34101702	農業施設設置助成事業	経済部 農政課	0 2,050	0 1,170	0 1,975	750 1,580	750 1,580	35	現状維持 で実施
34101801	農業金融対策事業	経済部 農政課	277 2,460	235 1,170	122 1,580	138 1,185	40 1,185	54	現状維持 で実施
34101901	グリーンセンター 施設運営費	経済部 グリーンセンター	22,453 1,722	23,583 1,638	24,590 1,659	26,012 1,659	26,012 1,659	44	現状維持 で実施
34102001	イベント広報事業	経済部 グリーンセンター	15,145 32,800	15,563 31,200	16,886 31,600	17,157 31,600	2,173 31,600	54	現状維持 で実施
34102101	わんぱく広場遊園事業	経済部 グリーンセンター	37,989 9,850	37,935 11,700	61,142 11,850	63,720 11,850	63,720 11,850	44	現状維持 で実施
34102201	植物園花木展示事業	経済部 グリーンセンター	78,126 41,000	75,770 39,000	83,537 39,500	84,551 39,500	74,551 39,500	48	現状維持 で実施
34102301	花き園芸振興事業	経済部 グリーンセンター	20,326 41,000	23,408 39,000	26,712 39,500	24,568 39,500	24,568 39,500	48	拡充して 実施

単位施策名	② 都市農地の保全								
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (予算額)	令和2年度 事業費 (計画額)	平成 30年度 の 総評価	令和 元年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
34200101	農業体験事業	経済部 農政課	54 2,050	34 2,730	54 1,580	70 1,185	70 1,185	50	現状維持 で実施
34200201	鳥獣保護緑地保全対策 事業	経済部 農政課	60 1,230	60 1,170	60 790	— —	— —	54	他事業に 統合されて 実施
34200302	地域農業活性化事業	経済部 農政課	12,794 5,740	10,204 7,020	9,426 5,530	18,600 8,295	18,600 8,295	54	拡充して 実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34100101	事業名称	川口緑化センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2426・2427)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口緑化センター設置及び管理条例、同施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	公益財団法人川口緑化センター		川口緑化センターの利用者及び市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	指定管理者により川口緑化センターを管理運営することで、植木を中心とする花き等、本市の特産農業の振興を図り、豊かな自然環境の保全及び地域社会の発展に寄与する。		指定管理者により川口緑化センターの管理運営を行う。 ・特産農業の振興に関する業務(講習会及び体験事業等の実施並びに情報収集及び情報提供等) ・川口緑化センターの利用許可に関する業務 ・川口緑化センターの施設及び設備の維持管理に関する業務		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	指定管理者による管理運営 ・各種講習会、園芸相談及び展示会等の実施 ・会議室等の貸与 ・施設の維持管理及び軽易な修繕 ・物品販売		項目	実績	単位
			春・秋の安行花植木まつり	各1	回
			第21回春の園芸フェスタ	1	回
			第16回緑の学会・ふれあい講演会	1	回
事業の成果 【定性的評価】	緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、特産農業の振興及び地域社会の発展に寄与した。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値				
	実績値・達成状況				
指標②	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値				
	実績値・達成状況				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	003細目	03細々目	川口緑化センター指定管理者管理運営費
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	131,543	123,513	131,645	138,012	151,319		
決算額(B)=(C)+(D)	125,336	123,513	131,645				
財源※	特定財源(C)	8,345	7,796	8,413	7,819		
	一般財源(D)	116,991	115,717	123,232	130,193		
概算人件費(E)	6,560	1,560	2,054	1,580	1,975		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.80 0.00	0.20 0.00	0.26 0.00	0.20 0.00	0.25 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	131,896	125,073	133,699	139,592	153,294		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	施設の老朽化が進んでおり、今後、隣接する川口市営植物取引センターも含めた緑化関連施設の整備計画及び活用方策を検討していく必要がある。 指定管理者の次期選定に向け、指定管理業務の内容の精査を行う必要がある。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34100301	事業名称	都市農業対策事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2426・2427)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	全国都市農業振興協議会 都市農業振興地方公共団体連絡調整会議		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	都市農地の保全と都市農業の振興を推進する。		全国都市農業振興協議会及び同協議会の発展的解散と同時に発足した都市農業振興地方公共団体連絡調整会議への参画。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	全国都市農業振興協議会に参画し、他の地方公共団体と連携して意見交換等を行った。		項目	実績	単位
			総会及び臨時総会の出席	2	回
事業の成果 【定性的評価】	国において都市農業の役割が認知され具体的な措置が整理されてきた。会員団体と意見交換等を行った結果、協議会を解散させ、新たに活動形態を変更して連絡調整会議を発足し個別具体的な都市農業関連施策の研究・実行に取り組んでいくこととなった。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	実績値・達成状況				
指標②	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	実績値・達成状況				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	004細目	01細々目	都市農業対策事業	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	250	250	200	56	56			
決算額(B)=(C)+(D)	65	161	128					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	65	161	128	56			
概算人件費(E)	2,050	3,666	1,975	1,185	1,185			
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.25 0.00	0.47 0.00	0.25 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00		
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,115	3,827	2,103	1,241	1,241			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	個別具体的な都市農業関連施策の研究に取り組むとともに、参画団体との情報交換及び連携に務める。	元年度	縮小して実施
		2年度	縮小して実施
		3年度	縮小して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34100401	事業名称	川口農業塾開催事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2429)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 21 年度 ～ 令和 - 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	都市化の進展、農業従事者の高齢化及び担い手不足により、農地及び農家数が減少しているという現状を踏まえ、意欲ある農業の担い手の育成及び確保を図る。		年間を通して営農実践研修を実施する。(研修用農地100㎡を1区画として受講生1人が耕作する)		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	1年を通じて農作物を育てることから、受講生は1月から12月を研修期間とし、農業技術指導員によるカリキュラムを通じて営農実践研修を行った。		項目	実績	単位
			修了生数	13	人
			見沼たんぼ就農予備校の入学者数	1	人
			サポーター登録者数	3	人
事業の成果 【定性的評価】	川口農業塾は、埼玉県農林振興公社主催の見沼たんぼ就農予備校の入門コースと同様のカリキュラムであり、成果として修了生1人が見沼たんぼ就農予備校初級コースへ進学している。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口農業塾修了生数	指標・目標値の 説明(算定式)	受講生の100%修了を目指す
	単位	人		指標の種別
	目標値	平成28年度 22 平成29年度 21 平成30年度 13 令和元年度 16 令和2年度		結果
	実績値・達成状況	22 達成 16 未達成 13 達成		
指標②	名称	見沼たんぼ就農予備校への入学者数	指標・目標値の 説明(算定式)	就農意欲を継続(ステップアップ)とみなし成果とする
	単位	人		指標の種別
	目標値	平成28年度 5 平成29年度 5 平成30年度 5 令和元年度 5 令和2年度		成果
	実績値・達成状況	4 未達成 4 未達成 1 未達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	004細目	02細々目	川口農業塾開催事業
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	1,871	1,947	1,387	1,527	1,527		
決算額(B)=(C)+(D)	1,559	1,238	1,352				
財源※	特定財源(C)	777	481	814	592		
	一般財源(D)	782	757	538	935		
概算人件費(E)	1,886	2,184	3,160	2,370	2,370		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.23 0.00	0.28 0.00	0.40 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,445	3,422	4,512	3,897	3,897		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	11 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
42 ／60	川口農業塾は就農を真剣に考えている者を対象に事業を実施しているが、就農者の育成に直結した成果があげられていない。受講生の中には市民農園と同様に考えている者もいるため、申込みの段階で、川口農業塾の趣旨を説明した上で、受講してもらう必要がある。	元年度 現状維持で実施
		2年度 休止
		3年度 -

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	34100601	事業名称	農地基本台帳管理システム費	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2429)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ～ 令和 - 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興
根拠法令等	農地法第52条に備え、整備するもの

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民等のうち農地所有者	受益者(最終的に受益を受ける人)	市民等
事業の概要	事業の目的(何のために) 農地の状況、農家世帯の情報及び農家の経営状況等を電子データ化し、農地利用関係事務及び証明書発行事務の効率化に資する。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 農地基本台帳システムの保守並びに最新の住基情報及び固定資産情報によるデータ異動・更新処理を行う。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたいのか) 農地基本台帳システムの保守並びに最新の住基情報及び固定資産情報によるデータ異動・更新処理を行った。	主な実績	
		項目	実績 単位
		農地基本台帳整備に係る調査の調査表配布	1,185 件
		市内農地面積	423.24 ha
		市内農地筆数	11,697 筆
事業の成果 【定性的評価】	農地基本台帳システムを最新データに更新し、農地基本台帳整備に係る調査をはじめとする農地関係事務を適正に行うことができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	01目	001細目	02細々目	農地基本台帳管理システム費
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	1,003	1,055	1,012	1,583	1,583		
決算額(B)=(C)+(D)	1,003	1,054	980				
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0		
	一般財源(D)	1,003	1,054	980	1,583		
概算人件費(E)	1,230	1,638	3,792	3,555	3,555		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.15 0.00	0.21 0.00	0.48 0.00	0.45 0.00	0.45 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,233	2,692	4,772	5,138	5,138		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 ／60	農地基本台帳整備に係る調査をはじめとする農地関係調査及び事務の執行にあたり、当該システムの更新は貴重な情報として必要であるため、引き続き、情報の更新及び整理を確実に行う必要がある。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34100701	事業名称	農政関係広報事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2429)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 51 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市内の農政及び農地に関する情報について、各農家及び関係機関に提供するとともに、市民の農の理解を促進する。		農業だよりを発行し農家の世帯を中心に配布し、農業委員会や農政に関する情報を提供する。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	30年度は、2回発行した。8月号には、農業委員会で定めた農地等の利用の最適化の推進に関する指針、農地利用最適化推進委員の現場活動等の記事を掲載し、12月号には、農地の取得の下限面積「別段の面積」の設定について等の記事を掲載し、農家等に情報を提供した。		項目	実績	単位
			「川口の農業だより」第88号(30年8月号)	2,000	部
			「川口の農業だより」第89号(30年12月号)	2,000	部
事業の成果 【定性的評価】	各農家及び関係機関に現在の農業委員会、農業及び農地に関する事項について周知することができた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値				
	実績値・達成状況				
指標②	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値				
	実績値・達成状況				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	01目	001細目	04細々目	農政関係広報事業			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	70	98	130	132	132					
決算額(B)=(C)+(D)	69	76	99							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	69	76	99	132					
概算人件費(E)	1,148	1,326	1,343	1,738	1,738					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.14	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00	0.22	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,217	1,402	1,442	1,870	1,870					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
50 ／60	市民の農の理解促進のため、今後も掲載内容の充実や各種農家に必要な情報提供の手段として、必要である。	元年度	現状維持で実施	
		2年度	現状維持で実施	
		3年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34100802	事業名称	農政審議会経費			事業区分	主要な事業
							政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2426・2427)	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	53	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市農政審議会条例、川口市農政審議会規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図る。		農政審議会を開催し、農業情勢の共有を図り、農業行政の推進について、意見交換等を行うもの。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	・農政審議会の開催 ・市内農業者を対象に、特産農産物高付加価値化・ブランド化制度構築に向けた事前調査(ヒアリング)を実施 ・特産農産物高付加価値化に向けた調査・審議等中間報告書及び同報告書を市へ提出		項目	実績	単位
			審議会開催回数	8	回
			事前調査(ヒアリング)対象者数	12	人
事業の成果 【定性的評価】	29年度の審議結果を受け、30年度は引き続き特産農産物高付加価値化に向け審議会の開催、農業者へのヒアリング等を行い、農業振興施策の具体化を進め、その結果、市内農業関連団体等が主体となった川口農業ブランド推進協議会が設立された。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			一般会計		06款	01項	02目	002細目	01細々目	農政審議会経費			
年度			平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)			202		451		931		899		834		
決算額(B)=(C)+(D)			89		325		692						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		89		325		692		899				
概算人件費(E)			1,230		3,120		2,370		2,607		2,370		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.40	0.00	0.30	0.00	0.33	0.00	0.30	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			1,319		3,445		3,062		3,506		3,204		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 ／60	今後、川口農業ブランド制度の運用は川口農業ブランド推進協議会が主体となって進めていくこととなるが、当該ブランド制度の精査・拡充をはじめとした農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図るため、引き続き農政審議会において必要な調査・審議等を行う。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	34100901	事業名称	農業経営改善事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2428)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 11 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 認定農業者(農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画が市の認定を受けた農業者及び法人)	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左
事業の概要	事業の目的(何のために) 農業経営基盤強化促進法に基づき市が策定した基本構想に示された効率的かつ安定的な農業経営体を目指して、自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者を育成及び支援する。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 埼玉県職員及び農協職員の参画のもと、農業経営改善計画の認定を行うとともに、農業経営の向上などを目的とした研修会を開催する。	
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・農業経営改善計画の認定事務 ・農業委員会等との意見交換会の開催	主な実績 項目 実績 単位 認定された認定農業者数(再認定含む) 7 人	
事業の成果【定性的評価】	自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者の育成につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	農業経営改善研修会参加者数	指標・目標値の説明(算定式)	認定農業者数の3分の1
	単位	人	指標の種類	結果
	目標値	平成28年度 16	平成29年度 20	平成30年度 19
	実績値・達成状況	0 未達成	17 未達成	23 達成
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位		指標の種類	
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	003細目	01細々目	農業経営改善事業
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	122	72	72	71	71		
決算額(B)=(C)+(D)	0	34	9				
財源※							
特定財源(C)	0	0	0	0			
一般財源(D)	0	34	9	71			
概算人件費(E)	3,690	1,950	1,975	1,975	1,975		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.45 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,690	1,984	1,984	2,046	2,046		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	5 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	8 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
39 ／60	農業委員及び農政審議員と認定農業者との意見交換会をもって研修会として実施。認定後のアフターフォロー及び支援策の拡充並びに農業経営改善のために効果的な研修会の実施について検討する必要がある。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34101002	事業名称	緑化産業活性化事業			事業区分	主要な事業
							政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2428)	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 63 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、緑化産業活性化事業補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	農業関係団体		市民等及び農業関係団体		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民等及び農業関係団体の交流を通して緑化に対する理解を深めるとともに、農業関係団体の自主事業を支援することにより、地場産業である緑化産業の活性化を図る。		・グリーンロード・ウォーキング開催事業に対する支援 ・みどりの地球号in安行開催事業に対する支援 ・植木・盆栽等の輸出入対策に関わる促進事業に対する支援		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	農業関係団体が実施する事業に対して補助金を交付した。		項目	実績	単位
			申請件数	2	件
事業の成果 【定性的評価】	農業関係団体の積極的な活動につながり、地場産業である緑化産業の活性化に寄与した。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	グリーンロード・ウォーキング参加者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		500		700		600		600			
	実績値・達成状況	471	未達成	380	未達成	617	達成				
指標②	名称	みどりの地球号in安行来場者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		8,000		8,000		8,000		8,000			
	実績値・達成状況	9,000	達成	9,000	達成	9,000	達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	01細々目	緑化産業活性化事業			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	1,230	1,630	2,000	2,000	2,000					
決算額(B)=(C)+(D)	1,230	1,630	1,900							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	1,230	1,630	1,900	2,000					
概算人件費(E)	5,740	3,120	3,555	3,555	3,555					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.40	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,970	4,750	5,455	5,555	5,555					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
53 ／60	ニーズに合った事業内容を検討する。	元年度	現状維持で実施	
		2年度	現状維持で実施	
		3年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	34101101	事業名称	園芸振興事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2428)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、園芸振興事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	農業関係団体		市民等及び農業関係団体		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	産地間競争の激化による価格競争や生産・流通機構の変化等に伴う厳しい農業経営環境に対応するため、農業関係団体の生産及び販売体制の近代化並びに販路拡張を図る。		・川口市安行の花・緑と物産展示即売会開催事業に対する支援 ・並木元町公園花植木市開催事業に対する支援 ・展示・即売会参加事業に対する支援 ・展覧会等参加事業に対する支援		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	農業関係団体が実施する事業に対して補助金を交付した。		項目	実績	単位
			申請件数	24	件
事業の成果 【定性的評価】	特産園芸品の生産及び販売体制の近代化並びに市場の拡張及び地場産業の振興に寄与した。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	安行の花・緑と物産展示即売会来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況	18,450	未達成	19,317	未達成	19,743	未達成		
指標②	名称	並木元町公園花植木市来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況	5,069	達成	1,935	未達成	8,769	達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計		06款	01項	03目	002細目	02細々目	園芸振興事業			
年度		平成28年度		平成29年度			平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)		4,900		5,400			5,400		5,700		5,700	
決算額(B)=(C)+(D)		4,859		5,305			5,308					
財源※	特定財源(C)	0		0			0		0			
	一般財源(D)	4,859		5,305			5,308		5,700			
概算人件費(E)		2,460		3,120			1,975		1,580		1,580	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.40	0.00	0.25	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		7,319		8,425			7,283		7,280		7,280	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
55 ／60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34101202	事業名称	農業改良普及事業			事業区分	主要な事業
							政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2428)	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業改良普及事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)			
	農業者及び農業関係団体		市民等、農業者及び農業関係団体			
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	都市化の進展に伴う生産環境の変化や急速に発達した情報化時代に対応するため、農業生産及び経営技術の向上並びに意欲ある農業後継者の育成を推進し、都市農業経営の確立及び発展を図る。		・川口市花の文化展開催事業に対する支援 ・特産農業推奨事業に対する支援 ・農業後継者育成事業に対する支援 ・農産物産地化モデル事業に対する支援			
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績			
	農業者及び農業関係団体が実施する事業に対して補助金を交付した。		項目		実績	単位
			申請件数		6	件
事業の成果 【定性的評価】	関係機関及び農業関係団体との緊密な連携の下に、農業経営の安定及び発展並びに後継者の育成を図るとともに、特産園芸の近代化に寄与した。					

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市花の文化展来場者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績から考慮					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		3,000		3,000		3,000		3,000				
	実績値・達成状況	3,500	達成	3,102	達成	3,353	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			一般会計		06款	01項	03目	002細目	03細々目	農業改良普及事業			
年度			平成28年度		平成29年度			平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)			5,200		5,200			5,662		5,800		5,800	
決算額(B)=(C)+(D)			5,186		5,074			5,292					
財 源 ※	特定財源(C)		0		0			0		200			
	一般財源(D)		5,186		5,074			5,292		5,600			
概算人件費(E)			3,280		5,850			5,925		5,530		5,530	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.75	0.00		0.75	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			8,466		10,924			11,217		11,330		11,330	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
53 ／60	ニーズに合った事業内容の検討並びに農業者及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	元年度	現状維持で実施	
		2年度	現状維持で実施	
		3年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34101301	事業名称	植物取引センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2426・2427)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市営植物取引センター設置及び管理条例、同施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	公益財団法人川口緑化センター		農業者及び市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	指定管理者により川口市営植物取引センターを管理運営することで、植木を中心とする花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化を促進するとともに、特産農業の振興を図る。		指定管理者により川口市営植物取引センターの管理運営を行う。 ・花きの生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供 ・川口市営植物取引センターの施設及び設備の利用に関すること		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	指定管理者による管理運営 ・植木等の生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供 ・施設の利用許可 ・施設の維持管理及び軽易な修繕		項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化が促進され、特産農業の振興が図られた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値				
	実績値・達成状況				
指標②	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値				
	実績値・達成状況				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	003細目	05細々目	植物取引センター指定管理者管理運営費
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	17,895	17,780	19,315	19,089	19,856		
決算額(B)=(C)+(D)	17,895	17,780	19,315				
財源※	特定財源(C)	5,434	5,684	5,460	5,746		
	一般財源(D)	12,461	12,096	13,855	13,343		
概算人件費(E)	2,132	702	1,501	1,343	1,896		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.26 0.00	0.09 0.00	0.19 0.00	0.17 0.00	0.24 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	20,027	18,482	20,816	20,432	21,752		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	施設の老朽化が進んでおり、今後、隣接する川口緑化センターも含めた緑化関連施設の整備計画及び活用方策を検討していく必要がある。 指定管理者の次期選定に向け、指定管理業務の内容の精査を行う必要がある。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34101601	事業名称	農作物生産等実態調査事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2429)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	22	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内に住所を有する農業者	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内に住所を有する農業者の農業生産の実態を把握して、農業行政の基礎資料とする。	農地基本台帳整備に係る調査に併せ、市内に住所を有する農業者を対象に農作物の品目ごとの販売量等、生産状況を調査し、集計したものを基礎資料として、県等の照会に対する回答の資料として活用する。	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 30年8月に行われた農地基本台帳整備に係る調査に併せ、29年生産分の農作物生産等実態調査表を各農家に配付するとともに、回収した調査表を基に29年生産分の集計表を作成した。	主な実績	
		項目	実績 単位
		農作物生産等実態調査 調査表配付	1,185 件
		農作物生産等実態調査 調査表回収	1,136 件
事業の成果 【定性的評価】	市内営農者の農業生産の実態について調査を実施し、集計することにより、農業行政の基礎資料とした。	農作物生産等実態調査 調査表回答	337 件

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	01細々目	農作物生産等実態調査事業
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	523	521	495	456	456		
決算額(B)=(C)+(D)	435	420	398				
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0		
	一般財源(D)	435	420	398	456		
概算人件費(E)	1,066	858	1,580	1,738	1,738		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.13	0.00	0.11	0.00	0.20
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,501	1,278	1,978	2,194	2,194		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	これまで調査の匿名性を優先し無記名回答としていたものを今年度から記名回答とし、また、調査表の様式を変更するとともに、農地基本台帳整備に係る調査表と書類を一緒に綴じることによって回収率は向上したが、回答率は前年とさほど変わらない数値であった。回答率を向上させるため、周知方法、調査表のさらなる簡素化を検討する必要がある。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34101702	事業名称	農業施設設置助成事業		事業区分	主要な事業
						政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2428)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業施設設置助成事業助成金交付要綱、農業施設設置助成事業助成金交付基準

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	農業者及び農業法人等	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	都市化の進展による農業経営環境の変化に対処するため、営農意欲のある農業者等が、農業施設の設置によって、経営の改善及び近代化の推進など集約的で付加価値の高い農業の振興を図る。	農業資金の融資を受けて農業施設を設置する農業者等に対し、事業費の15%を助成する。			
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績			
	申請がなかったため未実施	項目	実績	単位	
事業の成果【定性的評価】	未実施のため評価なし				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 令和2年度
	実績値・達成状況				
指標②	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)	
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 令和2年度
	実績値・達成状況				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	04細々目	農業施設設置助成事業
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	519	750	750	750	750		
決算額(B)=(C)+(D)	0	0	0	0	0		
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0		
	一般財源(D)	0	0	0	750		
概算人件費(E)	2,050	1,170	1,975	1,580	1,580		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.25 0.00	0.15 0.00	0.25 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,050	1,170	1,975	2,330	2,330		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	3 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
35 /60	設備投資により農業経営の改善及び近代化を図ろうとする農業者の負担軽減のために必要な事業であるが、平成21年度以降申請がないため、周知方法を拡充するとともに、ニーズに合った事業内容を検討する。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34101801	事業名称	農業金融対策事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2428)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	59	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興					
根拠法令等	埼玉県農業経営改善関係資金基本要綱、埼玉県農業近代化資金取扱要綱、川口市補助金等交付規則、川口市農業近代化資金利子補給に関する条例、施行規則、取扱要綱、川口市農業経営基盤強化資金利子助成事業実施要綱 等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	農業者及び農業法人等		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	農業経営の安定化、近代化及び生産の増強を図る。		農業者等が、農業経営の改善のために資金を借り入れた場合に、利子の一部を補給又は助成する。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	既存借入分の利子に対して補給及び助成を行った。		項目	実績	単位
			農業近代化資金利子補給件数	2	件
			農業経営基盤強化資金利子助成件数	2	件
事業の成果 【定性的評価】	農業者等の経済的負担が軽減され、経営の安定に資するとともに、農業意欲の向上を図った。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	農業近代化資金利子補給件数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績及び景気動向を考慮				
	単位	件	指標の種別	成果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		4		4		4		3			
	実績値・達成状況	3	未達成	3	未達成	2	未達成				
指標②	名称	農業経営基盤強化資金利子助成件数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績及び景気動向を考慮				
	単位	件	指標の種別	成果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		2		2		2					
	実績値・達成状況	2	達成	2	達成	2	達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	05細々目	農業金融対策事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	328	287		189		138		40		
決算額(B)=(C)+(D)	277	235		122						
財源※	特定財源(C)	78		66		42				
	一般財源(D)	199		169		76		96		
概算人件費(E)		2,460		1,170		1,580		1,185	1,185	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.15	0.00	0.20	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,737		1,405		1,702		1,323	1,225	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性			
54 ／60	農業者の高齢化等により設備投資が抑制されているが、事業活用されるよう、今後も更なる周知を図る。	元年度	現状維持で実施		
		2年度	現状維持で実施		
		3年度	現状維持で実施		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	34101901	事業名称	グリーンセンター施設運営費			事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	—

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)			
	市民等		同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	グリーンセンターの円滑な施設運営と入園者の利便性を高めること		入園券・案内パンフレット等の印刷、売札委託業務、券売機借上げ			
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績			
	入園券印刷ロール紙の購入、売札業務委託契約の締結及び自動券売機の借上契約の締結		項目	実績	単位	
			平成30年度入園者数	425,289	人	
事業の成果 【定性的評価】	入園者への適切な対応が図れたことで、利便性が高まった。					

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別								
	目標値	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況									
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別								
	目標値	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計		02款	06項	01目	002細目	01細々目	グリーンセンター施設運営費		
年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)		23,204				24,124		24,606		26,012	
決算額(B)=(C)+(D)		22,453				23,583		24,590			
財源※	特定財源(C)	9,206				9,088		8,096		10,066	
	一般財源(D)	13,247				14,495		16,494		15,946	
概算人件費(E)		1,722				1,638		1,659		1,659	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.21	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		24,175				25,221		26,249		27,671	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
44 /60	売札業務等を滞りなく行いながら、各種事業に対するPRを積極的に行い入園者の満足度をあげる。	元年度	現状維持で実施	
		2年度	現状維持で実施	
		3年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34102001	事業名称	イベント広報事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	43	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民への緑と憩いの場を提供し、心身の健康増進に資するとともに、当センターの集客増を図り、本市の知名度を向上させる。		・イベント開催 ・園芸教室 ・林間教室		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	●イベント開催 桜草展・スプリングフェア・ホテル観賞の集い・ピアガーデン・グリーンフェスティバル・洋蘭展・椿展等 ●園芸教室 コンテンダーガーデン・バラ/大菊/ブルーベリーの育て方・盆栽など ●林間教室 竹や木の実などを使った工作など		項目	実績	単位
			イベント開催	33	回
			園芸教室	20	回
			林間教室	34	回
事業の成果【定性的評価】	入園者に憩いの場や家族等とのふれあいの場を提供し、心身の健康増進に資することができた。園芸・林間教室では、多種多様な植物等への興味や関心を促し技術や知識を広めることができた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計		06款	01項	05目	003細目	02細々目	イベント広報事業		
年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)		15,265				15,730		16,943		17,157 2,173	
決算額(B)=(C)+(D)		15,145				15,563		16,886			
財 源 ※	特定財源(C)	6,364				7,585		6,314		7,596	
	一般財源(D)	8,781				7,978		10,572		9,561	
概算人件費(E)		32,800				31,200		31,600		31,600	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			47,945				46,763		48,486		48,757 33,773

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
54 ／60	課題:子どもを含めた若者世代が興味や関心を持てるようなイベントの開催していく。方策:植物をみせる・学ばせる等の植物園本来の参加型イベントの開催。市民(入園者)ニーズを的確に捉えたイベントの検討。	元年度	現状維持で実施	
		2年度	効率化して実施	
		3年度	効率化して実施	

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34102101	事業名称	わんぱく広場遊園事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	60	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	わんぱく広場の施設維持及び管理運営を行う		ミニ鉄道の保守運行管理、わんぱく広場の清掃、樹木、芝生等の管理及び遊具の安全な使用に関する指導等。わんぱく広場の施設の維持管理		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	・わんぱく広場の施設修繕 ・斜面遊具の更新		項目	実績	単位
			ミニ鉄道利用者数	160,767	人
事業の成果【定性的評価】	安全・安心な施設維持及び管理運営ができた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			一般会計		06款	01項	05目	003細目	03細々目	わんぱく広場遊園事業			
年度			平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)			38,568		38,450		61,554		63,720		63,720		
決算額(B)=(C)+(D)			37,989		37,935		61,142						
財源※	特定財源(C)		32,016		32,076		29,889		36,109				
	一般財源(D)		5,973		5,859		31,253		27,611				
概算人件費(E)			9,850		11,700		11,850		11,850		11,850		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.50	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			47,839		49,635		72,992		75,570		75,570		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
44 ／60	施設等の老朽化が顕著に見られるようになり、小規模修繕等では対応できないところが多くなっている。今後実施するグリーンセンター活性化基本計画の中で、費用対効果も考慮し、今後の運営方法について検討を行っていく。	元年度	現状維持で実施	
		2年度	現状維持で実施	
		3年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	34102201	事業名称	植物園花木展示事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	市民等	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	季節の植栽・展示を行い緑化意識の高揚を図る。	花木の維持管理及び植物の栽培 鳥類及び魚類の飼育 花木及び植物の展示 園芸、造園及び緑化等の相談 委託業務の指導、監督			
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたいのか) 園内の植栽・樹木・芝生・花壇・園路や広場・自然林の管理及び植物展示等。園内清潔の保持、害虫の駆除等。鳥類の飼育等。 園芸相談や技術指導の実施等。委託業務設計・指導・監督、園内廃棄物処理等。	主な実績			
		項目	実績	単位	
		園芸相談及び技術指導等	304	件	
事業の成果 【定性的評価】	入園者へ四季折々季節ごとの植物展示や適切な植栽管理等を行うことができ、緑化意識の高揚及び緑化知識の向上が図れた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	04細々目	植物園花木展示事業
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	80,045	77,715	84,399	84,551	74,551		
決算額(B)=(C)+(D)	78,126	75,770	83,537				
財源※							
特定財源(C)	24,563	24,251	21,596	26,845			
一般財源(D)	53,563	51,519	61,941	57,706			
概算人件費(E)	41,000	39,000	39,500	39,500	39,500		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	119,126	114,770	123,037	124,051	114,051		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 ／60	入園者に対して、更なる緑化啓発の向上を図り、工夫を凝らした企画・展示を継続的にを行い、併せて樹木の適正な空間確保及び大径木の撤去等を計画的に行う必要がある。また、施設全体の老朽化等や社会的ニーズに対応するため、中長期的な再整備計画の方針が必要とされる。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34102301	事業名称	花き園芸振興事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ① 都市農業の振興		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業の振興並びに入園者、市民の緑化意識の高揚を図る	園芸植物の育成、展示及び品種保存 園芸振興施設、大温室、観賞温室の維持管理 園芸技術研修・実習、体験学習の受入れ、指導 委託業務の指導、監督	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
		項目	実績 単位
		夢ワーク体験事業受入れ	6 人
		桜草ボランティア活動指導等	29 回
事業の成果 【定性的評価】	農業の振興並びに入園者、市民の緑化意識の高揚を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			一般会計		06款	01項	05目	003細目	05細々目	花き園芸振興事業		
年度			平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)			22,899		23,428		26,894		24,568		24,568	
決算額(B)=(C)+(D)			20,326		23,408		26,712					
財源※	特定財源(C)		6,168		6,091		5,432		6,743			
	一般財源(D)		14,158		17,317		21,280		17,825			
概算人件費(E)			41,000		39,000		39,500		39,500		39,500	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			61,326		62,408		66,212		64,068		64,068	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 ／60	市民、来園者の緑化意識の高揚を図ることができるような園芸植物の維持管理、展示、情報発信を継続的に行っていく必要がある。 施設・設備の老朽化が顕著であり、安全性・作業効率等向上のため、中長期的な利活用及び大規模改修方針の検討が必要である。	元年度	拡充して実施
		2年度	拡充して実施
		3年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	34200101	事業名称	農業体験事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2428)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ② 都市農地の保全		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民等	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 市民の農への理解を促進するため、農業の初心者等で家庭菜園を楽しみたい方を対象に野菜づくりの知識とコツを学ぶ講座を開催する。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・家庭菜園講習会の開催	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 家庭菜園の基礎を学ぶ講義及び秋植え野菜の植え付けを行う講習会	主な実績	
		項目	実績 単位
		参加者数	28 人
事業の成果 【定性的評価】	都市住民の生活に潤いを与えるとともに、都市農業への理解促進に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	004細目	01細々目	農業体験事業
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	56	40	69	70	70		
決算額(B)=(C)+(D)	54	34	54				
財源※							
特定財源(C)	24	10	28	30			
一般財源(D)	30	24	26	40			
概算人件費(E)	2,050	2,730	1,580	1,185	1,185		
従事職員人数(人)	常勤 再任用						
	0.25 0.00	0.35 0.00	0.20 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00		
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,104	2,764	1,634	1,255	1,255		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 ／60	市民の農への理解促進を図るとともに、農ある暮らしを推進するため、ニーズに合った開催内容を検討する。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	34200201	事業名称	鳥獣保護緑地保全対策事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2428)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 43 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ② 都市農地の保全
根拠法令等	鳥獣保護及び狩猟の適正化に関する法律、鳥獣保護農業緑地保全対策事業実施要領

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	鳥獣保護区内の自然環境及び農業緑地の保全を図る。		鳥獣保護緑地保全対策業務委託		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	新郷、安行、戸塚及び神根の4地区にわたる「川口鳥獣保護区」並びに旧芝川下流の「旧芝川鳥獣保護区」を巡回し、使い捨て針(釣針)の回収やかすみ網による密漁の発見及び通報などを行い、鳥獣の保護と農業緑地の保全管理を行った。		項目	実績	単位
			巡回回数	24	回
事業の成果 【定性的評価】	委託業者が、定期的に鳥獣保護区内をパトロールし、使い捨て針(釣針)等の危険物の回収を行い、地区内の農地等が保全された。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	02細々目	鳥獣保護緑地保全対策事業
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	60	60	60	—	—		
決算額(B)=(C)+(D)	60	60	60				
財源※							
特定財源(C)	0	0	0	—	—		
一般財源(D)	60	60	60	—	—		
概算人件費(E)	1,230	1,170	790	—	—		
従事職員人数(人)	常勤 再任用						
0.15	0.00	0.15	0.00	0.10	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,290	1,230	850	—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 ／60	平成31年度より自然保護対策室に事業移管。 事業実施にあたり課題なし。	元年度 他事業に統合されて実施 2年度 — 3年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	34200302	事業名称	地域農業活性化事業		事業区分	主要な事業
						政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(2428)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 4 魅力ある農業の振興 — ② 都市農地の保全
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、地域農業活性化事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	農業関係団体等		市民等及び農業関係団体等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	農業者間の連帯及び農業関係団体等の活性化を促進し、加えて地域住民との協調の上に立った農業の振興を図る。		・農業関係団体が主催する研修及び調査等に対する支援 ・農業祭開催事業及び緑と大地の豊年まつり開催事業に対する支援 ・農業協同組合が実施する市民農園の新規開設及び運営管理に対する支援 ・農業関係団体が行うブランド化事業に対する支援		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	農業関係団体が実施する事業に対して補助金を交付した。		項目	実績	単位
			申請件数	20	件
事業の成果 【定性的評価】	農業関係団体等の活性化及び特産農産物のPRに寄与した。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緑と大地の豊年まつり来場者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		18,000		18,000		18,000		18,000			
実績値・達成状況	19,520	達成	23,373	達成	24,205	達成					

指標②	名称	市民農園区画数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮				
	単位	区画	指標の種別	成果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		572		572		572		572			
実績値・達成状況	579	達成	551	未達成	665	達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計		06款	01項	04目	002細目	03細々目	地域農業活性化事業			
年度		平成28年度		平成29年度			平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)		13,081		12,236			10,700		18,600		18,600	
決算額(B)=(C)+(D)		12,794		10,204			9,426					
財源※	特定財源(C)	0		0			0		0			
	一般財源(D)	12,794		10,204			9,426		18,600			
概算人件費(E)		5,740		7,020			5,530		8,295		8,295	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.90	0.00	0.70	0.00	1.05	0.00	1.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		18,534		17,224			14,956		26,895		26,895	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	元年度	拡充して実施
		2年度	拡充して実施
		3年度	現状維持で実施